

ケーススタディ(政策形成ワークショップ)参加報告レポート

大学院1年 塚田高弘

この度、茨城県石岡市で実施のフィールドワークに参加しました。藤井浩司先生ご指導の下、異なるバックグラウンドを持った社会人学生4名が受講生として参加しました。本講義の目的は、「理論と実務の融合」「石岡市が明日からでも実行可能な政策を市長に提言すること」です。事前講義で、石岡市が「自転車を活用したまちづくりについて～石岡市りんりんタウン構想～」を推し進めていることを学びました。それに対し具体的な政策提言を作成すべく、実地調査では受講生自らが自転車で現地を視察し、提言作成の為の材料を収集したり、地域の課題を調査しました。

1. プログラムの実施スケジュール

日程	8月21日(火曜日)	8月22日(水曜日)	8月23日(木曜日)
午前			
8:40	・石岡駅集合(JR特急ときわ)		・石岡市役所へ移動
9:00	・石岡市役所到着・着替え		・プレゼン資料(写真①参照)の準備
9:30	・レンタサイクル視察開始(写真②参照)	・茨城空港視察 ・ダチョウ王国	
11:00	【サイクリングルート】 舟塚山古墳→恋瀬川サイクリングロード→朝日里山学校→茨城県フラワーパーク→中津川(そば屋)→恋瀬川上流→佐久の大杉	・法政大学石岡施設へ移動	・市長へのプレゼンテーション 1. 教授挨拶(写真⑦参照) 2. プレゼン(写真⑧参照) 3. 市長講評(写真⑨参照)
午後			
1:00	・武蔵野美大生と合流「アートサイト八郷(やさと)」見学(写真③参照)	・プレゼンテーション資料作成	・解散
4:00	・佐久の大杉見学(写真⑥参照)	・中間発表・教授指導	
5:00	・宿泊場所(ビジネスホテル)	・宿泊場所(法政大学施設)	
6:00	・夕食&懇親会		

2. プログラムの内容

今回の受講生は4名と少人数に思いましたが、レンタサイクルでの現地視察や講義内容を考慮すると適切な人数でした。1日目は自転車で約40キロの距離を移動し、街の各所を見学しま

した。石岡市の職員さんがご案内くださったこと、電動スポーツ自転車（写真②）をお借りできたこともあり、長距離移動や山道も無理なく回ることができました。途中のフラワーパークでは、武蔵野美術大学の学生と合流し一緒にサイクリングで他大学との交流を楽しみながら（写真④）、彼らが中心となって推進するアート野外展示「アートサイト八郷（写真③）」を見学しました。2日目の午前、茨城空港を視察しました。茨城空港はもともと航空自衛隊が管理する飛行場で、2010年に民間共有化されました。隣接する石岡市は、空港からの観光客誘致に力を入れています。2階のテラスは飛行機の離発着が間近で見られるよう設計されており、民間機だけでなく自衛隊の戦闘機なども観察することができました。午後は、2日目以降の宿泊先である法政大学の施設に移動し、プレゼンテーション用のスライドを作成しました。スライドの準備時間は2日目の午後と3日目の午前中のみと短かったのですが、各々の社会人経験とチームワークにより効率的に準備を進めることができました。そして3日目の午前に石岡市長の前でプレゼンテーションを行いました。

3. 参加して得た成果・感想

現地に行ってみると、当初の予定では想定しなかった様々なスケジュール変更を余儀なくされました。特に大きな変更点としては、最終日午後に予定されていたプレゼンテーションの実施が急遽午前に前倒しになったことです。宿泊所でWi-Fiが使用できなかったこともあり、発表用スライド作成の時間が大幅に削られてしまいました。資料作成の環境は決して恵まれているとは言えませんが、市役所職員や関係各位多くの方の協力を得ながら、試行錯誤や工夫を凝らして発表に漕ぎ着くことができました。刻一刻と変わる状況への対応は、実務で常についてまわります。実務では資料づくりのための施設や時間など、すべて整備がされていることはありません。私たちは各々の実務経験から、足りないことを憂うのではなく、与えられた環境を前向きに活かすことが出来ました。そして街のために何ができるのかをとことん議論し、自転車活用のまちづくりに向け、「食」「娯楽」「快適性」「安全性」という4つのテーマを設定してスライドを作成しました。受講生それぞれの意見や調査結果を尊重しながらも、内容に一貫性があり、実現可能な政策提言を作成することを重視しました。発表を終え、市長から提言に対しお褒めの言葉をいただいた際は感無量でした。文字通り汗をかいて、綺麗な景色と一体となり、そこに生きる温かい人たちに触れ合えたこの体験は、現地でしか学び得ないことであつたと思います。

4. プログラムのおすすめポイント

政策企画の担当部課や市幹部とのコミュニケーションをとおして、行政内部における政策立案のプロセスを実践的に学ぶことができます。2泊3日と限られた時間のなかで、課題の発見、テーマの設定、具体的な解決方法の提示をする必要があるため、おのずと短期間で政策を立案するスキルが身につきます。また、教員の指導を受けながらも、議論においては学生に幅広い裁量が認められている為、各々の個性を自由に提言に活かすことができます。立案した提言が実際の自治体の施策として検討いただけることも、当講座の魅力の一つです。日常から離れ自分とは直接関わりがなかった地域のために、全力で政策を考えることはなかなか経験できません。大学院在学中に参加することを強く推奨いたします。

① 発表資料



② レンタサイクル視察風景



③ アートサイト八郷



④ 武蔵野美術大学と合流&サイクリング



⑤ かやぶき屋根の家前



⑥ 佐久の大杉



⑦ 教授挨拶



⑧ 学生挨拶・プレゼン



⑨ 石岡市長講評

